

スポーツ文化局 平成27年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

少子高齢社会の到来、価値観の変容と多様化、地域のつながりの希薄化、国際化の進展等、本市を取り巻く環境が急激に変化し、多くの課題を抱える現代社会においては、市民の健康増進や生きがいに貢献し、地域に深い絆を形成することにも寄与するスポーツと文化芸術の果たす役割が、ますます重要なものとなっています。

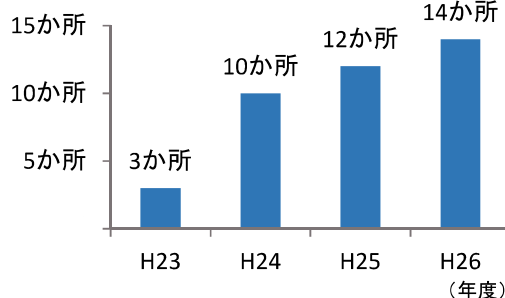
こうした背景のもと、スポーツ環境を整備することや、地域の文化資源を活用すること等により、市民がスポーツや文化芸術に親しむ機会を増やすことを通じて、生活にゆとりと潤いをもたらし、地域に活力を生み出すことが求められています。

さらに、シンボリックな大会やイベントを開催することにより、国内外に向けて市の魅力を発信し、地域経済の活性化にも寄与することで、スポーツや文化芸術を活用した健康で心豊かな活力あるまちづくりを推進する必要があります。

(1) スポーツ環境の整備

市民が健康で心豊かな生活を送ることができるよう、身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる多目的広場をはじめとするスポーツ環境の整備を進める必要があります。

【市有未利用地を活用した多目的広場の整備数（累計）】

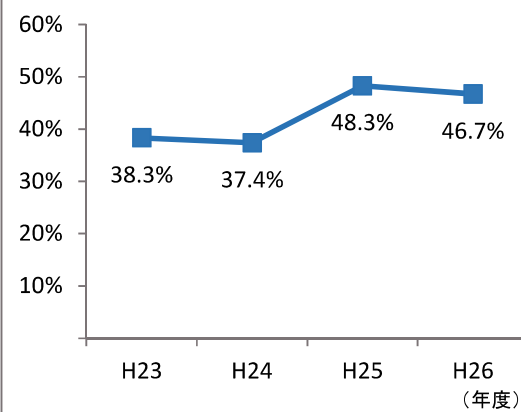


(2) スポーツ実施率の向上

市民（成人）の週1回以上のスポーツ実施率をみると、右のグラフのとおり推移しており、本市の数値目標（70%）には及ばない状況です。

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催が決定し、スポーツへの関心が高まりつつある中、市民参加型のスポーツイベント等を開催し、スポーツ活動のきっかけとなる機会の提供や、運動不足解消や健康増進に対する市民意識の向上を図り、市民の自主的なスポーツ参加を促す必要があります。

【市民（成人）の週1回以上スポーツ実施率推移】



(3) 「スポーツのまち さいたま」
の実現

「さいたまシティマラソン」をフルマラソン化し、国際女子マラソンと同時開催する「さいたま国際マラソン」や、世界最高峰の自転車競技「ツール・ド・フランス」の名を冠したレースの開催など、大規模スポーツイベントを開催することにより、スポーツの振興はもとより、地域経済の活性化を図り、「スポーツのまち さいたま」を国内外にアピールする必要があります。

【ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム】



【さいたまシティマラソン】

(4) 文化芸術都市の創造

「生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市」を創造するために、「文化芸術都市創造計画」（平成26年3月策定）に基づく各種施策を総合的かつ計画的に実施するとともに、同計画の重点プロジェクトである国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ2016」の平成28年度開催に向けた準備を進める必要があります。



【さいたまトリエンナーレ2016ロゴ】

(5) 文化資源の活用

本市の特色ある文化資源である人形や盆栽などを活用し、文化振興に加え観光振興等にも寄与するため、施設の整備及び運営の充実を図る必要があります。

【大宮盆栽美術館】



2. 基本方針・区分別主要事業

スポーツ環境を整備することや、地域の文化資源を活用すること等により、市民がスポーツや文化芸術に親しむ機会を増やすとともに、シンボリックな大会やイベントを開催することで、都市としての魅力を高め、地域経済の活性化にも取り組むことにより、健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」の実現と、「生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市」の創造を目指します。

(1) スポーツ・レクリエーション活動の場の充実を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
1	総	多目的広場整備事業 〔スポーツ振興課〕	24,376 (9,676)	15,937 (7,837)	未利用地を活用したスポーツもできる多目的広場を整備
2	総	学校体育施設開放事業 〔スポーツ振興課〕	69,116 (29,016)	19,123 (19,123)	市立小・中学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で希望団体に開放

(2) スポーツに親しむことができるよう、多彩なプログラムを提供します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
3	総	総合型地域スポーツクラブ支援事業 〔スポーツ振興課〕	213 (0)	191 (0)	地域住民が主体的な企画・運営を行う総合型地域スポーツクラブを支援
4		さいたま市・南会津町たていわ親善ツーデーマーチ事業 〔スポーツ振興課〕	1,745 (1,745)	1,300 (1,300)	市民が自然豊かな南会津町を歩くことにより、世代・地域を越えた交流及び健康・体力づくりを図るとともに、友好都市提携をしている南会津町との親善事業として開催
5	総	さいたまシティカップ開催事業 〔スポーツ振興課〕	50,000 (50,000)	0 (0)	海外強豪クラブを招へいし、本市をホームタウンとする浦和レッズ、大宮アルディージャとの国際親善試合を開催

[区分] 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画後期基本計画実施計画事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業
成…成長戦略事業 行…行財政改革推進プラン2013事業

(3) 大規模イベントの開催により、健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」を目指します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
6	拡 総 成	さいたまシティマラソン事業 〔スポーツイベント課〕	150,143 (150,143)	75,233 (75,233)	市民マラソンにより健康増進を図るとともに、世界トップレベルの選手の走りを体感することで、市民のスポーツに対する意欲、関心を高め、「スポーツのまち さいたま」を国内外にアピールできる市民フルマラソンと国際女子マラソンを「さいたま国際マラソン」として同時開催
7	成	国際自転車競技大会開催事業 〔スポーツイベント課〕	325,743 (325,743)	330,000 (330,000)	「スポーツのまち さいたま」としての都市イメージの向上を図るため、世界最高峰の自転車レースである「ツール・ド・フランス」の名を冠した大会を開催
8	総 成	スポーツコミッション事業 〔スポーツ振興課〕	34,094 (34,094)	34,208 (34,208)	スポーツを通じた交流人口を増やし、スポーツ振興と地域経済の活性化を図るため、大規模なスポーツ大会等を誘致・支援するとともに、(公社)さいたま観光国際協会の自主事業「さいたまマーチ」の開催を支援

(4) 生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市を創造します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
9	拡 総 倍	さいたまトリエンナーレ事業 〔文化振興課〕	122,265 (117,265)	40,802 (40,802)	国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ2016」の平成28年度開催に向け、プレイベントの開催、アーティストの招へい・滞在制作準備、市内外に対する広報・PR活動等を実施
10	総 倍	文化芸術都市創造基金積立金 〔文化振興課〕	201,018 (190,000)	0 (0)	文化芸術都市創造の取組を安定的かつ継続的に進めるため、市民や企業からの寄附金と市の積立金の受け皿となる新たな基金を設置

[区分] 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画後期基本計画実施計画事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業
成…成長戦略事業 行…行財政改革推進プラン2013事業

(5) 人形や盆栽など、さいたま市の地域資源を活用した施設の整備及び運営の充実を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
11	総 成	(仮称)岩槻人形会館 整備事業 〔文化施設建設準備 室〕	24,245 (20,245)	23,308 (21,308)	本市の特色ある人形文化の振興を図るため、日本人形を中心とした展示や講座などを実施するとともに、観光振興等にも寄与する(仮称)岩槻人形会館を整備
12	拡 総 倍 成	大宮盆栽美術館管理運 営事業 〔大宮盆栽美術館〕	116,101 (94,590)	107,678 (88,195)	盆栽文化の振興・活用及び観光振興の拠点施設としての管理・運営並びに世界盆栽大会に向けた気運醸成のため国際盆栽シンポジウムを開催

[区分] 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画後期基本計画実施計画事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業
成…成長戦略事業 行…行財政改革推進プラン2013事業

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト削減額
スポーツ振興課	三角塔製作の見直し	三角塔製作を見直し、製作にかかる委託料を縮小する。	△ 90
スポーツ振興課	スポーツクリニックの開催回数の見直し	開催回数を見直し、開催にかかる報償費、役務費、使用料を縮小する。	△ 247
スポーツ振興課	多目的広場管理運営協議会委員の人数の見直し	委員の人数を見直し、協議会の開催に係る報償費を縮小する。	△ 40
文化振興課	子ども文化祭補助金交付事業の見直し	子どもたちによる和太鼓や日本舞踊などの伝統文化活動の発表の場として「子ども文化祭」を開催運営している実行委員会に対し補助金を交付しているが、さいたま市文化振興事業団が自主事業として平成27年度から実施予定の「子どものためのフェスティバル」に「子ども文化祭」を移行し、実行委員会への補助金を廃止する。	△ 334
文化施設建設準備室	資料写真撮影業務の見直し	人形資料の図録等媒体掲載用の撮影規模を縮小する。	△ 1,037
文化施設建設準備室	所蔵資料複製品作成業務の見直し	岩槻を中心とした人形づくりの実態について調査研究を行った後、展示すべき文献資料をさらに検討し、平成28年度以降に実施する予定。	△ 1,148